

平成25年5月20日

四條畷学園小学校

「学校評価アンケート」の集計結果のお知らせ

学校評価アンケートの集計結果ができましたので、ご報告させていただきます。なお、回答回収率は保護者82.9%、児童98.5%でした。

* 学校評価の実施方法

- (1) 実施時期：平成24年12月
- (2) 調査対象：小学校在籍の保護者及び児童全員
- (3) 評価項目：教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う
- (4) 評価方法：各項目について5段階評価で行う
 - 5：強くそう思う
 - 4：どちらかと言えば、そう思う
 - 3：どちらともいえない
 - 2：どちらかと言えば、そうは思わない
 - 1：まったくそうは思わない

* 評価の重点目標

- ・ 建学の精神『報恩感謝』
- ・ 教育方針 個性の尊重・明朗と自主・実行から学べ・礼儀と品性
- ・ 平成24年度 小学校 教育指針
 - A 基礎学力の徹底
学習に自信を持たせるよう配慮し、意欲的態度や実行力の基礎養う。
 - B 個性の尊重
一人ひとりの興味関心を大切にし、だれにも自信を持たせる。
 - C 実行力の尊重
子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導する。
 - D 学習内容の精選
子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべきものを見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求する。
 - E 自律の手助け
「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、生涯にわたる自律の意識を育む指導を行う。
 - F 集団活動の充実
意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を取り入れたりして「みんなでいっしょに」「高学年を敬う」「低学年を育む」を常に考えさせる。
 - G 幼稚園・中学との円滑な接続
幼稚園や中学校とのつながりを密にし、相互の教育内容を充実させることにより、長期にわたる同じ方向性を持った指導を行う。

H 命を守るための取り組み

自他の命を尊び、安全なくらしを希求する態度を育てるとともに、緊急時の対応を検討することにより、校内の安全性を高める。

☆保護者評価

質問番号	質問項目	23年	24年
1	学園小学校に入学させて(入学して)よかった	4.2	4.5
2	学校は、学力向上を目指して努力している	3.6	3.9
3	先生の教え方は、工夫されていて、わかりやすい	3.7	4.0
4	子ども達は、まじめに授業をうけている	3.6	3.9
5	学園小学校の行事は楽しい	4.2	4.6
6	学園小学校の「学校のきまり」はいいきまりだ	3.8	4.2
7	先生は、きまりやマナーについてきびしい	3.3	3.6
8	子ども達は、きまりやマナーを守っている	3.8	4.0
9	子ども達は、児童会活動がんばっている	3.5	4.1
10	我が子は(私は)、学校で友だちとうまくいっていると思う	3.8	4.1
11	先生達と子ども達とは、うまくいっていると思う	3.9	4.2
12	学校は、けんかやいじめがあったらすぐに対応してくれる	3.6	3.9
13	制服やランドセル、体操服はよいデザインだ	3.7	4.0
14	学園での習い事やスクールは充実している	4.0	4.2
15	学校の設備施設は、充実している	3.7	4.0
16	学校の美化は、行き届いている	3.7	4.0
17	成績や生活状況の通知は行き届いている	3.6	3.9

☆児童評価

質問番号	質問項目	23年	24年
1	学園小学校に入学させて(入学して)よかった	4.6	4.6
2	学校は、学力向上を目指して努力している	4.3	4.3
3	先生の教え方は、工夫されていて、わかりやすい	4.1	4.0
4	子ども達は、まじめに授業をうけている	4.1	4.0
5	学園小学校の行事は楽しい	4.7	4.7
6	学園小学校の「学校のきまり」はいいきまりだ	4.3	4.1
7	先生は、きまりやマナーについてきびしい	4.0	4.1
8	子ども達は、きまりやマナーを守っている	4.0	4.0
9	子ども達は、児童会活動がんばっている	4.6	4.5
10	我が子は(私は)、学校で友だちとうまくいっていると思う	4.4	4.3
11	先生達と子ども達とは、うまくいっていると思う	4.1	4.1
12	学校は、けんかやいじめがあったらすぐに対応してくれる	3.9	4.0

13	制服やランドセル、体操服はよいデザインだ	3.9	3.9
14	学園での習い事やスクールは充実している	4.1	4.1
15	学校の設備施設は、充実している	4.0	4.0
16	学校の美化は、行き届いている	3.4	3.6
17	成績や生活状況の通知は行き届いている	4.2	4.2

*概評

私たちは、四條畷学園の建学の精神であります「報恩感謝」の心を小学校でも基盤とし、現在に受け継いでいます。その上で、一人ひとりの個性をのびのびと育み、心の芽を伸ばすことを大切にして、ぬくもりのある学校・楽しい学校を目指しています。

今年度も2学期末に「学校に関するアンケート調査」の御協力をお願いいたしました。8割を超える御回答をお寄せいただきました。誠にありがとうございました。この結果をもとにし、加えて自己点検・評価によって明らかになった課題に真摯に向き合い、教職員一同その課題を共有し、具体的に改善を図ってまいります。それでは、これまで学校でまとめました保護者、アンケート結果を、今年度の本校の取り組みと合わせて報告させていただきます。

平成24年度は、『規律遵守の意識レベルの向上』『学力の向上』『成績状況等に関する説明の改善』『幼稚園・中学校の連携の強化』を重点目標として取り組んでまいりました。アンケートの結果から、これら4項目については、引き続き取り組むべき課題であると考えます。

しつけ・マナーについての項目は、保護者の評価が前年度よりも向上いたしました。本年度も教職員がマナーについて統一した基準をもとにした「しつけポスター」を各教室に掲示して、「自律の手助け」を念頭に置いた指導を心がけました。また、9月には、学校のきまりを全児童が理解できるよう、クイズ形式で決まりを再確認できる「ああかんちがいクイズ」を実施しました。1月には、副校長の質問を聞きながら、自分の行動を振り返る「マナー振り返り」を実施しました。しかし、指導の徹底という点では、まだまだ努力が必要であると考えます。次年度も継続して子どもたちのしつけとマナー向上に、力をいれます。

「学力の向上」については、しつけ・マナーの項目と同様、保護者の評価が前年度よりも向上いたしました。学力向上の具体的な手だてとしましては、「書き、まとめる」「書いて考える」「書いて交流する」といった活動を基本に据えた授業を組み立て、「書く能力」の向上を全学級に取り組んだことがあげられます。できる限り、どの教科にも「書く」作業を多く取り入れるようにしました。その結果、児童のアンケートと定期考査をみますと、基礎、基本について、一定の成果が上がっております。全ての子どもたちに分かる喜びをもってもらうため、今後も研鑽を深めてまいります。

「成績状況等についての説明」については、保護者の評価が向上、児童の評価は前年とかわらずの結果となりました。本年度も、「やる気を持たせるための成績通知模索」をめあてとして成績通知を改善し、保護者と児童に学習到達度を継続的でわかりやすく通知できる方法を研究してまいりました。今後は、通常の学習時間帯に行われるカリキュラム以外の家庭学習、補習などについても、学校の統一した

見解をより分かりやすく保護者に知らせていきたいと考えています。

その他のアンケート結果をみますと、『子どもたちは、まじめに授業を受けている』『けんかやいじめがあったらすぐに対応してくれる』といった項目に対する保護者の評価に、クラス間でばらつきがあります。また、『教室の美化は、行き届いている』といった項目も児童の評価が低いクラスがあることが分かりました。高学年で評価が低いクラスが目立っていましたので、学年、学級ごとに個別にアドバイスをし、改善に努めるよう促しました。一方、『学園小学校に入学してよかった』『学園小学校の行事は楽しい』『習い事やスクールが充実していて楽しい』といった設問では、ほとんどの保護者の皆様から今年度も良い評価をいただきました。また、『先生と子どもたちとは、うまくいっている』『学校のきまりはいいきまりだ』といった設問でも、まずまずの評価をいただいていると感じました。

これからも、子どもと保護者による学校評価の結果を踏まえ、本校の教育課題を解決するために、学校運営のあり方を見直し、改善に努めて参りたいと思っております。皆様のよりいっそうのご協力、ご理解をお願いする次第です。